

○実施概要

日 時：令和7年10月28日（火）9：35～11：55
場 所：新潟市立中之口東小学校
主 催：北陸信越運輸局
協 力：西蒲区社会福祉協議会、新潟交通観光バス株式会社
対象者：新潟市立中之口東小学校 4年生児童（19名）

新潟市立中之口東小学校の4年生児童19名を対象にバリアフリー教室を開催しました。

児童たちは、「心のバリアフリー」についての講義のあと、車椅子を使って体育館、校内施設を移動する体験やバスに乗降する体験を実施しました。水道の手洗いやトイレなど普段私たちは不自由なく使っていても、車椅子の方にとってみると一苦労することがたくさんあり、当事者の気持ちになって考えてみたり、また当事者だけでなく介助をする方大変さも学んでもらいました。

○体験の様子



○参加した児童の感想（抜粋）

- ・はじめに車椅子に乗った時に怖いと感じた。
- ・車椅子に乗っている時に声掛けがあると安心できる。
《例：「曲がりますよ」や「狭いところに行きますよ」》
- ・利用者のときはマットに乗るときの段差は少しのはずなのに車椅子が浮き上がって怖かった。
- ・介助者のときはマットの段差を越える時が重くて難しかった。
- ・マットを通る時も、重く感じて大変だった。
- ・介助者はせまい道が通りにくく動きづらかった。
- ・介助者で段差の時に、足でバーを踏む際に力を入れずぎると後ろに転んでしまうので適度に力を入れることに苦労した。
- ・車椅子で手を洗う時、蛇口がいつもより遠くて大変だった。
- ・バスに乗るときに力を入れて押すのが大変だった。
- ・もし困っている人がいたら積極的に助けたい。